

投稿規定

1. 投稿論文は Endourology, ESWL, 腹腔鏡, ロボット手術などの泌尿器科の低侵襲医療等に関連する内容を含むものとし、論文の採否は、2名以上の査読後、査読審査の結果に基づき編集委員会で決定する。
2. 投稿者は、共著者を含め一般社団法人日本泌尿器内視鏡学会会員に限る。総説は、原則として編集委員会の依頼によるものとし、本学会会員に限定しない。
3. 本誌に掲載された著作物の著作権は、一般社団法人日本泌尿器内視鏡学会が占有するものとする。
4. 投稿に際しては、投稿論文の内容の全てあるいは一部が他誌にすでに掲載もしくは掲載予定でない論文であること、また投稿論文の領域について表1。審査領域9項目のうちから選び明記すること。
5. 投稿論文の内容は倫理面に配慮し、臨床研究・動物実験とも実施施設の倫理委員会の規定に従うものであることを本文中に記載すること。個人情報特定することが可能な記載はしないこと。
6. 投稿論文の研究について、他者との利害関係の有無を記載した利益相反 (conflict of interest) に関する開示書を提出すること。本書類は論文の採否には影響しないが、論文が本誌に掲載される際に明記される。
7. 総説等において他誌より図表等を転載する際は事前に転載元から転載許可を得ること。
8. 原稿投稿先：
<https://www.jsee.jp/greeting/submit>
投稿は日本泌尿器内視鏡学会 HP の論文投稿頁にあるオンライン投稿システムから行うこと。
※アカウント登録が必要
投稿の際は投稿論文および図表の他に COI をアップロードすること。

論文の書き方

1. 原稿は和文、もしくは英文とする。和文、英文ともに、原則として MSWord を使用し、電子データ形式で投稿する。A4 版用紙にダブルスペースで作成すること。
2. 投稿論文は原著、症例報告、Urologist at Work (実際の手術の手法や工夫等の短報) に分ける。
3. 原著論文および Urologist at Work の構成は、a. 標題、b. 抄録、c. 緒言 (Introduction)、d. 対象と方法、e. 結果、f. 考察、g. 参考文献、h. 図・表の説明 (Legends)、i. 図・表の順とし、各セクションはそれぞれ新しいページより始める。抄録については、和文原稿の場合英語で150ワード以内と日本語で350字以内の抄録をつけて、英文原稿の場合英語で150ワード以内で作成すること。
4. 症例報告の構成は、a. 標題、b. 抄録/要旨、c. 緒言 (Introduction)、d. 症例、e. 考察、f. 参考文献 (最小限にとどめる)、g. 図・表の説明、h. 図・表の順にし、各セクションはそれぞれ新しいページより始める。
5. 投稿論文の長さは以下を原則とする。

	仕上がりページ	図・表・写真
原著論文	8	8
症例報告	5	4
Urologist at Work	4	4

英文、和文ともに原稿3頁をもって仕上がりページ約1頁(1800字)と換算する。ただし、図・表およびその説明も仕上がりページに組み込んで換算すること。

6. 標題を記したページには、全著者名とその所属、住所、電話番号、ファックス番号、(使用可能な場合は) e-mail アドレス、校正刷りを送付するための代表著者名、Key words (5単語以内) を記載する。
7. 略語を用いるときは、これが本文中に最初に出る時、正式名と

略語を併記し、以後略語のみを用いる。一般に受け入れられていない略語を新たに作って用いることをしてはならない。また、標題、抄録・要旨中での略語の使用は避ける。

8. 薬剤名は医薬品名と化学名を用い、商品名を使用してはならない。
9. 和文原稿に関する注意
 - 原則として、現代かなづかいを用い、当用漢字表に従う。
 - 外国の地名、人名などは原語をそのまま用いるが、慣用的に広く定着したものはこの限りではない。
 - 範囲を示す場合～は使用せず、- (半角ダッシュ) でつなぐ。
例: 2-3日, 30-40℃
 - 単位は原則として記号 (g, mg, m, mm, mL 等) を用いる。
 - 数量は算用数字を用いる。
 - 用語は原則として「泌尿器科用語集」(金原出版) に従う。
10. 英文原稿に関する注意
 - 本誌に掲載の Instructions to Authors に従うこと。
11. 参考文献の引用数は20文献以下とする (依頼による総説論文については、この限りではない)。引用は本文中に表れた順とし、引用した文末に肩付きで通し番号をつける。

文献の記載方法

- 雑誌の場合は、文献番号 (ピリオドをつける)、著者名 (ファミリーネームが先、1字開けてイニシャルをピリオドなしでつける)、出版年 (() でくくる)、論文タイトル (ピリオドをつける)、誌名、巻数: ページ数 (始め-終わり) の順に記載する。誌名は英文誌は Index Medicus に示された略称、和文誌は医学中央雑誌に示された略記方法に従う。
- 単行本の場合は文献番号、著者、出版年、題名 (ピリオドをつける)、編集者名、書籍名、出版社名、都市名、ページ数の順に記載する。
- 著者が4名以上いる場合は、3名までを連記し、最後に「, et al.」をつける。

記載例

- 欧文雑誌
Chisholm DJ, Youn JD, Lazarus L (1969) The gastrointestinal stimulus to insulin release. J Clin Invest 48: 1453-1460

Kawada T, Ebihara K, Suzuki T, et al. (1997) A new technique for transurethral resection of bladder tumors: rotational tumor resection using a new arched electrode. J Urol 157: 2225-2226

- 欧文単行本
Robins JA, Brown NM, James KA (1988) Bladder carcinoma in children. In: Early JK, Diner CW (eds) Pediatric Malignancies, vol. 1. The Williams & Wilkins, Baltimore, pp. 35-46

- 和文雑誌
東原英二, 田中良典, 堀江重郎, 他 (1992) 腹腔鏡下副腎摘除術. 日泌尿会誌 83: 1130-1133

- 和文単行本
寺地敏郎 (1995) 腹腔鏡下副腎摘除術の歴史. 寺田修, 東原英二 (監修) 腹腔鏡下腎・副腎摘除術—副腎篇. 診断と治療社, 東京, pp. 1-4

12. 図および表について
 - 図・表およびその説明は、和文原稿の場合は日本語で、英文原稿の場合は英語で作成すること。
 - 図・表には番号 (図1, 図2……, 表1, 表2……, または Fig. 1, Fig. 2……, Table 1, Table 2……) をつけ、本文中でこの番号に従って必ず引用する。
 - 表の中で用いられる略語については、脚注をつけて説明すること。
 - 図の大きさは横幅が1段 (84 mm) または版面 (176 mm × 237 mm) に収まる範囲のものとし、原則として、そのまま原

寸で写真取りして使用できるものを用意する。

- 顕微鏡写真等の縮小，拡大率を正確に示すべき図は，必ず図中に標準尺度を示す線を記入し，図説の中で説明する．×1000等の方法で示さないこと。
 - 図についてはjpg や pdf あるいは PowerPoint データで査読システムからアップロードする。
 - 仕上がりページが規定を超えた場合，超過ページ分を有料とする。
13. 総説は編集部よりの依頼原稿のみであり，ページ数は各々の場合によって異なるが，概ね5,000字以内とする．700語以内の抄録をつける。

別刷について

別刷は有料にて注文を受けつける．著者校正時に校正刷りと共に送付される注文用紙に記入の上，校正返送時に同封すること。

表1. 審査領域について

1. 尿路結石
2. Endourology 領域
3. 腹腔鏡手術：副腎・腎・腎盂尿管
4. 腹腔鏡手術：前立腺・その他
5. Robot 手術
6. マイクロ波，レーザー関連領域
7. 前立腺肥大症手術
8. HIFU, 超音波領域
9. その他の領域